

# 避難支援等実施者の確保に関する取組

～全モデル団体向け質問に対する回答から～

令和3年9月9日  
個別避難計画作成モデル事業  
ノウハウ共有ミーティング  
(第3回)

内閣府政策統括官（防災担当）付参事官（避難生活担当）

# 要支援者が支援者を確保できていない場合、支援者は誰に設定しますか？

※宝塚市からの各モデル団体等への質問に対する回答を大まかに整理したものです。（未回答のモデル団体等は2団体）

## 1. 未検討、検討中 ⇒18団体

- 未検討、今後検討、事例ないため未検討など。⇒9団体【仙台市、村上市、富士市、豊中市、丹波市、小松島市、四国中央市、鳥栖市、延岡市】
  - ・未検討ですが、地域の防災関係者と協議し、支援者の確保を進めていく必要があると考えています。【村上市】
  - ・要支援者が住んでいる地域と協議して決定したい。【富士市】
- 検討中。⇒8団体【常総市、つくばみらい市、江戸川区、川崎市、長野市、広島市、東温市、那覇市】
  - ・地域による支援体制の構築を検討。【常総市】
  - ・町会・自治会や消防団、福祉サービス事業者などと今後検討。【江戸川区】
  - ・区長や福祉事業所、消防団を想定。【長野市】
  - ・避難支援等関係者間で協議し、近隣の方で支援できる人がいないかを検討。【広島市】
  - ・近隣住民へ依頼することとなると思います。【東温市】
  - ・なるべく地域で見つけていただきたいと考えています。【那覇市】
- 支援者を確保できるよう、防災リーダーの養成や自主防災組織の強化を促すなど、市としてのフォローアップを行う必要があると思っております。【茅ヶ崎市】

## 2. 依頼先を具体化している（個人を特定しない組織や団体への依頼も含む）⇒13団体

- 現在は**家族**を主な支援者となっていていただくこととなっております。【常総市】
- ケアマネや地区の人**に支援を依頼することを想定していますが、それが困難であれば要支援者自身の責任で見つけてもらうという手段も検討するかもしれません。【館林市】
- 毎年開催している『住民支え合いマップづくり』の際に**参加されている方々で話し合いの上、各地区ごとに参加者の中から支援者を選出**してもらっています。【榛東村】
- 自主防災会**及び**民生委員**等に依頼をしております。また、各自治会で支援者への協力をお願いしています。【永平寺町】
- 民生委員へ地域住民とのマッチングを依頼。地域で活動している方からの情報を元に協力いただける方を選任していただきます。【犬山市】
- 個別のケースごとに関係者との協議により設定**することとしており、**自主防災組織や民生児童委員、その他支援が期待できる個人、団体等**を想定している。【福知山市】
- 地区の**民生委員児童委員**が**なっているケースが多い**ですが、あくまでも**任意**です。【熊取町】
- 親族や近隣住人**で確保が難しい場合は、**自治会の役員もしくは民生委員、消防団員等**で調整することになります。【明石市】
- 現時点では、特定の個人での対応が難しければ**団体単位での対応等により支援者を設定**している。【岡山市】
- 今までの個別計画作成の呼びかけとして、支援者は**自主防災会でもよい**こととしています。【三原市】
- 支援者については、ケースバイケースで画一的に決められるものではなく、**個々の対象者毎に決定するもの**と考えています。（なお、地域でのささえあいマップ作成時には、自治会長、自治会班長、自主防災組織、民生委員、婦人防火クラブ、ご近所の方などを設定しており、**実際の災害時にはそこに居合わせた方を中心に地域ぐるみで支援**します。）【長崎市】
- 原則、**自主防災組織**を支援者に設定。自主防災組織がない地域については調整中。【益城町】
- 地区ごとに設定**（**近隣住民、町会役員、まちぐるみ福祉活動推進員**などから選定）【金沢市】

## 3. 確保できなかった場合の対応 ⇒3団体

- 現時点では、**地域住民の支援者がいなくても**（自ら又はご家族と避難することができる状態なら）**よい**としています。（記載しないことも許容。水害等では、予めリスクを予測できる段階から、ショートステイ等のサービス利用を開始してもらいます。）【古河市】
- 支援者がいない場合、支援者欄については空白（なし）となります。【別府市】
- 地域の支援等が全くないということであっても、最終的には**地域**の力や**民生委員**など。（何年かかろうとも粘り強く理解を求める。）【高島市】

# 支援者への依頼は誰がどのように行いますか？①

※宝塚市からの各モデル団体等への質問に対する回答を大まかに整理したものです。（未回答のモデル団体等は1団体）

## 1. 未検討、検討中 ⇒ 5 団体【仙台市、江戸川区、川崎市、豊中市、延岡市】

○要支援者本人やそのご家族、作成を支援していただいている福祉専門職で支援者を探して、依頼をしていただきます。個別に支援者の選定が困難な方については今後、関係者とマッチングに関するプラットフォーム構築を検討しています。【江戸川区】

## 2. 本人や家族が依頼 ⇒ 16 団体

○地域支援者は、本人又はご家族が、普段の地域のつながり、付き合いの中で自身で見つけて、お願いするというのを基本にしています。ケアマネ等がしっかり「地域ケア」を実践する場合は、ケアマネ等がマッチングする場合もあると思いますが、地域のインフォーマルな資源を活用しているケアマネ等はわずかだと思います。【古河市】

○現在は本人や家族からの依頼となっています。地域で話し合いによる個別避難計画作成を検討しています。【常総市】

○要支援者本人から支援者に対し、同意を得てもらうことになっています。【つくばみらい市】

○原則本人から行ってもらい、あわせてケアマネや市などから補足的に依頼をする予定です。【館林市】

○要支援者本人やそのご家族、作成を支援していただいている福祉専門職で支援者を探して、依頼をしていただきます。個別に支援者の選定が困難な方については今後、関係者とマッチングに関するプラットフォーム構築を検討しています。【江戸川区】

○基本は本人や家族が依頼します。困難な場合は計画作成支援者（福祉事業所や自主防災組織）が依頼することを想定しています。【長野市】

○基本的には要支援者やその親族が関係性のある方に支援を依頼してもらっています。【犬山市】

○原則、本人、家族または自治会、民生委員児童委員です。【丹波市】

○現時点、一部モデル地区においてすでに作成している計画については、①町内会から地域住民に依頼する場合、②本人・家族から近隣の方をお願いする場合のいずれかにより支援者への依頼を行っており、依頼の方法としては、個別に打診する場合と、地域調整会議のような打合せの場で行う場合がある。【岡山市】

○原則、本人又は家族により依頼していただくこととしていますが、本人等により支援者が確保できない場合には、避難支援等関係者に支援者の確保を依頼しています。【広島市】

○地域支援者は近くに住む親族や知人になってもらうことが多いため、要支援者本人が支援者へ依頼してもらっています。【小松島市】

○本人又は避難支援等関係者が支援者へ依頼します。【東温市】

○避難支援者については、要支援者本人や家族で探すことを想定しています。【鳥栖市】

○避難行動要支援者本人・家族または自治会長・民生委員から、ご近所の方や友人などをお願いしていただくことにしています。また、避難行動要支援者名簿をもとに自治会が主体的に支援者を決める取組み（ささえあいマップ）をしている自治会もあり、その場合は、自治会長、自治会役員、民生委員から直接依頼しています。【長崎市】

○要支援者本人やその家族等が行います。【別府市】

○基本的には要支援者本人が避難支援者を決めてますが、見つからない場合は地域の方が要支援者の近所の方に声掛けを行うなど、地域で見つけていただきたいと思います。【那覇市】

（注）複数の区分（1～6）に該当団体（例：江戸川区、長野市等）があるため、区分ごとの団体数の合計と回答いただいた団体数（35団体）と一致しません。

# 支援者への依頼は誰がどのように行いますか？②

※宝塚市からの各モデル団体等への質問に対する回答を大まかに整理したものです。(未回答のモデル団体等は1団体)

## 3. ケアマネジャー、自治会、民生委員などが依頼 ⇒13団体

- 要支援者本人やそのご家族、作成を支援していただいている福祉専門職で支援者を探して、依頼をしていただきます。個別に支援者の選定が困難な方については今後、関係者とマッチングに関するプラットフォーム構築を検討しています。【江戸川区】
- 基本は本人や家族が依頼します。困難な場合は計画作成支援者(福祉事業所や自主防災組織)が依頼することを想定しています。【長野市】
- 地域調整会費で調整後、市や自治会長、福祉専門職、社協のCSW等が依頼を行う予定。【高島市】
- 現行では、自治会の役員、民生委員児童委員がおこなっています。【熊取町】
- 要支援者への聞き取りから、希望もしくは近隣の付き合い等を把握し、自治会長または民生委員が自宅に伺って依頼する形が多いです。【明石市】
- 原則、本人、家族または自治会、民生委員児童委員です。【丹波市】
- 現時点、一部モデル地区においてすでに作成している計画については、①町内会から地域住民に依頼する場合、②本人・家族から近隣の方をお願いする場合のいずれかにより支援者への依頼を行っており、依頼の方法としては、個別に打診する場合と、地域調整会議のような打合せの場で行う場合がある。【岡山市】
- 原則、本人又は家族により依頼していただくこととしていますが、本人等により支援者が確保できない場合には、避難支援等関係者に支援者の確保を依頼しています。【広島市】
- 今までは自主防災組織等の避難支援等関係者が行っていました。今後、福祉専門職が関わって作成するときに自主防災活動が活発でない地域の支援者をどうするかが課題と感じています。【三原市】
- ケアマネが災害時リスク・アセスメントシート作成時に依頼予定。【四国中央市】
- 本人又は避難支援等関係者が支援者へ依頼します。【東温市】
- 避難行動要支援者本人・家族または自治会長・民生委員から、ご近所の方や友人などをお願いしていただくことにしています。また、避難行動要支援者名簿をもとに自治会が主体的に支援者を決める取組み(ささえあいマップ)をしている自治会もあり、その場合は、自治会長、自治会役員、民生委員から直接依頼しています。【長崎市】
- 基本的には要支援者本人が避難支援者を決めますが、見つからない場合は地域の方が要支援者の近所の方に声掛けを行うなど、地域で見つけていただきたいと思います。【那覇市】

## 4. 市町村が依頼 ⇒2団体

- 基本的には、自治会の協力を得ながら依頼することで考えています。【村上市】
- 防災関係支援者には防災部局、福祉関係支援者には福祉部局が依頼。【益城町】

# 支援者への依頼は誰がどのように行いますか？③

※宝塚市からの各モデル団体等への質問に対する回答を大まかに整理したもの。(未回答のモデル団体等は1団体)

## 5. 避難支援等関係者などが地域調整会議などの場で決めている ⇒ 7 団体

- 毎年開催している『住民支え合いマップづくり』の際に、各地区から参加している地域の支援者の方々の中で、誰が誰の支援をするかをその場で話し合っ決めてもらっています。【榛東村】
- 支援者は誰で何が担えるかについては、自治会や自主防災組織が一番分かっているので、個別避難計画を作成する際に地域の中で話し合っ決めてもらうことを想定しております。【茅ヶ崎市】
- 各自治会内で決定していただきます。【永平寺町】
- 地域の話し合いによって決定して貰う。【富士市】
- 個別計画の策定時において、支援者を加えて協議を進めることとしている。【福知山市】
- 現時点、一部モデル地区においてすでに作成している計画については、①町内会から地域住民に依頼する場合、②本人・家族から近隣の方をお願いする場合のいずれかにより支援者への依頼を行っており、依頼の方法としては、個別に打診する場合と、地域調整会議のような打合せの場で行う場合がある。【岡山市】
- 避難支援等関係者らで協議して支援者を選定し、依頼。要支援者が支援してほしい人もあわせて確認。【金沢市】

## 6. 事例によって異なる ⇒ 1 団体

- 事例によってことなると思います。【黒潮町】